



生涯学習だより①9

■お問合せ
生涯学習課(内線 72232)
— Life Long Learning —

※Life Long Learning＝生涯学習

いにしへの歴史発見 (埋蔵文化財発掘調査)

酒沼川が市の中央を流れ、自然豊かな笠間市は、原始・古代より人々が生活を営む上で最適の地域でした。平成20年度には3カ所で発掘調査が行われ、県内でも数少ない弥生時代の遺跡が発掘されるなど、笠間市の歴史を知る上で重要な発見がありました。

ししどじょうあと

穴戸城跡発掘調査 (笠間市平町)

正保年間(1644～1648年)に作成された穴戸城下絵図に示された堀跡を発見しました。

ながみねにし

長峰西遺跡発掘調査 (笠間市小原)

4棟の掘立柱住居を合わせ、奈良・平安時代を中心に70軒の住居跡を発掘しました。



かめ
カマドに設置されていた甕

はんがい

ながみねにし

埴谷・長峰東遺跡発掘調査 (笠間市小原)

130軒の住居跡のうち、弥生時代の住居跡が76軒発掘されました。ほぼ完全な形に近い弥生土器が数多く出土しました。



弥生土器



大原小学校6年生児童による
発掘体験学習

現地説明会



「国への感謝、注文」

100年に一度の経済危機、雇用悪化、派遣切り、企業業績大幅悪化、マイナス成長経済、毎日のように新聞等で目にする言葉です。明るい兆候もあるのでは！

国は、戦後最大の景気対策として、昨年10月に第一次補正、2月に第二次補正、4月に21年度予算、経済対策としての今回の追加補正と、景気対策を最優先に取り組んでおり、その成果も表れていると思います。

地方自治体にとって、景気対策に伴う予算措置、地方活性化対策等は大変ありがたく、住民サービスの向上にもつながっています。

しかし、中には疑問に思う点もあり、景気回復が最優先とはいえ、大盤振舞の感があります。地方が必要としているものが何かを的確に捉えていたきたい。また、赤字国債の発行については、将来、負の遺産となりえないだろうか。今後、誰が、どの世代が、負担をして社会を支えていくのか、考えさせられます。

一方で、政策の実施窓口は市町村です。我々は、合併により行政改革を行いながら、スリムで骨太の自治体として、生まれ変わってきています。権限移譲を受け、国の対策にも迅速に、的確に対応してい

こんにちは市長室です



山口市長



佐白山清掃活動に参加して(4/11)

ます。しかし、最近の矢継ぎ早な政策には、消化不良を起しそうな状況です。

予算の執行に伴う法律や制度の改正については、国民へ示しながら、直前になって

見直しをすることが多くなっています。現場の認識不足があるのでは？ このようなことが国の威信低下につながってしまうのでは？ 懸念されます。十分な論議を経て、自信を持って示すことが必要ではないでしょうか。

市としては、国、県と連携し、地方自治体の役割を果たしてまいります。

4月16日

笠間市長
山口伸樹